

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 4 月 16 日 (2015.4.16)

【公表番号】特表 2014-516104 (P2014-516104A)

【公表日】平成 26 年 7 月 7 日 (2014.7.7)

【年通号数】公開・登録公報 2014-036

【出願番号】特願 2014-512777 (P2014-512777)

【国際特許分類】

C 0 8 L 51/00 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 F 265/08 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 51/00

C 0 8 L 101/00

C 0 8 F 265/08

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 27 年 2 月 25 日 (2015.2.25)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シード、コア及びシェルで構成された A S A 系グラフト共重合体；及びマトリックス重合体；を含んで構成され、

前記 A S A 系グラフト共重合体は、ゲル含量が 8 5 % 超過で、膨潤指数が 8 未満であり、

、

前記 A S A 系グラフト共重合体のシードと前記マトリックス重合体の屈折率 (μ_D^{25}) 差は 0 . 0 6 未満であり、

前記 A S A 系グラフト共重合体のコアと前記マトリックス重合体の屈折率 (μ_D^{25}) 差は 0 . 0 5 超過であり、

前記コアの厚さは 2 0 ~ 5 0 nm であり、

前記シードを含むコアは、粒径 1 5 0 ~ 3 5 0 nm であり、

前記マトリックス重合体は、ポリカーボネート樹脂、アクリロニトリル スチレン共重合体、ポリエステル樹脂及びポリ塩化ビニル樹脂より選ばれた 1 種以上であることを特徴とする A S A 系グラフト共重合体組成物。

【請求項 2】

前記シェルと前記マトリックス重合体の屈折率 (μ_D^{25}) 差は 0 . 0 5 以下であることを特徴とする、請求項 1 に記載の A S A 系グラフト共重合体組成物。

【請求項 3】

前記シェルは架橋性化合物を含んで構成されることを特徴とする、請求項 1 に記載の A S A 系グラフト共重合体組成物。

【請求項 4】

前記シェルは、芳香族ビニル化合物、シアン化ビニル化合物及び架橋性化合物を含んで構成されることを特徴とする、請求項 1 に記載の A S A 系グラフト共重合体組成物。

【請求項 5】

前記シード、コア及びシェルの重量比は 5 ~ 4 0 : 2 0 ~ 6 0 : 2 0 ~ 6 0 の範囲内で

あることを特徴とする、請求項 1 に記載の A S A 系グラフト共重合体組成物。

【請求項 6】

前記架橋性化合物は、ジビニルベンゼン、3-ブタンジオールジアクリレート、1,3-ブタンジオールジメタクリレート、1,4-ブタンジオールジアクリレート、1,4-ブタンジオールジメタクリレート、アリールアクリレート、アリールメタクリレート、トリメチロールプロパントリアクリレート、テトラエチレングリコールジアクリレート、エチレングリコールジメタクリレート、ジエチレングリコールジメタクリレート、トリエチレングリコールジメタクリレート、ネオペンチルグリコールジメタクリレート、トリアリルイソシアヌレート、トリアリールアミン、及びジアリールアミンからなる群より選ばれることを特徴とする、請求項 3 に記載の A S A 系グラフト共重合体組成物。

【請求項 7】

前記架橋性化合物は、A S A 系グラフト共重合体の単量体総 100 重量部を基準にして 0.1 ~ 10 重量部で含まれることを特徴とする、請求項 3 に記載の A S A 系グラフト共重合体組成物。

【請求項 8】

前記 A S A 系グラフト共重合体とマトリックス重合体の重量比は 0.1 : 99.9 ~ 99.9 : 0.1 であることを特徴とする、請求項 1 に記載の A S A 系グラフト共重合体組成物。

【請求項 9】

前記 A S A 系グラフト共重合体組成物は、難燃剤、活剤、抗菌剤、離型剤、核剤、可塑剤、熱安定剤、酸化防止剤、光安定剤、相溶化剤、顔料、染料及び無機物添加剤からなる群より選ばれた一つ以上の添加剤をさらに含むことを特徴とする、請求項 8 に記載の A S A 系グラフト共重合体組成物。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項の A S A 系グラフト共重合体組成物によって製造されることを特徴とする成形品。

【請求項 11】

前記成形品は、自動車部品、電気 / 電子部品又は建築用資材であることを特徴とする、請求項 10 に記載の成形品。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0035

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0035】

前記架橋性化合物は、ジビニルベンゼン、3-ブタンジオールジアクリレート、1,3-ブタンジオールジメタクリレート、1,4-ブタンジオールジアクリレート、1,4-ブタンジオールジメタクリレート、アリールアクリレート、アリールメタクリレート、トリメチロールプロパントリアクリレート、テトラエチレングリコールジアクリレート、エチレングリコールジメタクリレート、ジエチレングリコールジメタクリレート、トリエチレングリコールジメタクリレート、ネオペンチルグリコールジメタクリレート、トリアリルイソシアヌレート、トリアリールアミン、及びジアリールアミンからなる群より選ばれた 1 種以上を含むことができる。